

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 大腿骨近位部骨折における心エコー所見と合併症率の及び死亡率の関係』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 整形外科 職位・氏名 助教・高田和孝

【試料・情報の利用目的】

取得した試料・情報は大腿骨近位部骨折の診断で入院され、心臓超音波検査を受けた方の検査所見や数値が、合併症の発生率や死亡率にどのような影響を与えるかを調査することを目的とした研究に使用します。心エコーは心臓の機能を評価する目的で使用され、大腿骨近位部骨折の場合は、手術を受ける予定の方が検査をうけることで、安全に手術が可能かを調べるのが可能となります。しかし、中には心臓の機能が低下しているために安全に手術をするために厳重な全身管理が必要となったり、骨折の治療より優先して心臓の治療をおこなわれることや、手術ができないと判断される場合もあります。この結果が入院中における合併症の発生率や骨折後1年以内の死亡率にどのような影響を及ぼすかを調査します。この研究で得られる成果は、大腿骨近位部骨折における安全な治療の向上につながります。

【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる試料・情報】

診療情報の内容、X線などの画像情報、採血、心エコーの所見などの生理検査結果等を使用します。

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2024年8月より利用を開始します。

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

該当なし

【試料・情報の取得方法】

対象者: 2018年1月～2023年3月までに東邦大学医療センター大橋病院 整形外科において、大腿骨近位部骨折で超音波検査の検査を受けた方おおよそ400名

方法: 診療録(カルテ)から抽出した診察内容や採血や画像データ。生理検査などを使用して解析します。

治療開始後の観察期間は1年間です。

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大橋病院 研究代表者: 高田和孝 役職: 助教

【利用する者の範囲】

東邦大学医療センター大橋病院 研究代表者： 高田和孝 役職： 助教

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大橋病院

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方、もしくは代諾者(研究対象者の親権を行う方、配偶者やその成人した子供、後見人その他これらに準じる方で、両者の生活の実質や精神的共同関係から見て、研究対象者の最善の利益を図りうる方)は、2024年9月30日までに下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用いたしません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 整形外科

職位・氏名 助教・高田和孝

電話 03-3468-1251 内線 7517